

# いなかおカ)

東京都世田谷区歯科医師会会報  
<http://www.setagaya-da.or.jp/>



Ⅲ

2017

No. 174

## 東南アジア旅行の知的楽しみ方 「インド化」された国々へ 遺跡の旅—X L VI

下馬部会 齋藤賢一



写-1 妙高山関山神社「関山石仏群」

今回は北陸地方の石造物の話をしたと思います。まずは北陸地方でもっとも古い平安から鎌倉にかけてつくられた関山石仏群を見に行きます（写-1）。新潟県と長野県の県境にある妙高山の麓、関山神社境内に安置されています。とても不思議な石仏で胸から下を地中に埋め込まれている「埋込式」石仏群です。また頭部が螺髪（仏の縮れた髪）を欠き、右手で施無畏印を結ぶ古い形式です。この石仏は彌勒仏か阿弥陀仏かはっきり解りません。この石仏25体が境内の覆屋に安置され、神社の周囲に10体が安置されています。また同時期と思われる仏足石もあります。岩の中央に仏足、左側に舍利塔、右側に仏手華判が彫刻されています（写-2）。なぜこの地にこれらの石仏群があるのかと言いますと、妙高山および関山は古来より山岳信仰の霊場で、修験者達が奥の院に参ったと見られる登山道です。そしてこの地では凝灰岩が沢山とれ、石仏造りには適しています。以前はこの登山道に沿って安置されていたと思われます。平安期の石仏の特徴であるおおらかさを持った石仏です。残念な事に保存状態がよくありません。

北陸地方のハイライトは富山県の立山近郊にある大岩山日石寺の磨崖仏です（写-3）。日石寺の本尊で

ある不動明王坐像、制吒迦（せいたか）童子立像、矜羯羅（こんがら）童子立像、阿弥陀如来座像、行基と言われる菩薩座像が凝灰岩の巨岩に半肉彫りで彫り出されており、作は藤原時代（平安時代中頃）と考えられますが、行基



写-2 妙高山関山神社「仏足石」

菩薩座像はややおくれて彫りだされたものと思われる。不動明王座像は右手に力を現わす剣、左手に智を現わす羂索（けんさく）を持つ迫力ある像です。岩が傾斜しているためによけい迫力が増します。矜羯羅童子はとても愛敬のある顔立ちです。阿弥陀如来坐像は小さいながらとてもよい出来です。一方制吒迦童子と菩薩座像はとても保存状態が悪いです。日石寺の不動明王は石仏の最高傑作でしょう。



写-3 立山日石寺「不動明王磨崖仏」

富山には特徴のある石仏があります。「やせ仏」、正式名称は宝蔵菩薩五劫思惟像といいます(写-4)。富山県は真宗王国で阿弥陀如来の修行されている姿の宝蔵菩薩が親しまれています。本来五劫思惟の阿弥陀如来は肉付きが



写-4 富山市「やせ仏」

良く、幼児の様な体形をして髪の毛は修行のために伸び、巨大なカツラをかぶったような頭をしています。ところが富山の宝蔵菩薩五劫思惟像は釈迦如来の苦行に似た像容でガンダーラ仏のようにあばらが



写-5 立山日石寺「やせ仏」

が出たやせ仏です。このような「やせ仏」が富山市や立山市に見られます。先ほどの大岩山日石寺の参道にも「やせ仏」が祀られています(写-5)。

福井県の一乗谷には多くの石仏があります。これらの石仏はほとんどが朝倉氏の栄えた16世紀のもので、一乗谷は戦国大名、朝倉氏の城下町として栄えた地で近年発掘調査がおこなわれ、山城や山麓の居館(義景屋敷跡)とともに武家屋敷などの城下町も発掘されほぼ全貌があきらかになり、一乗谷朝倉氏遺跡として国の特別史跡に指定されました。戦国大名朝倉氏は京にあこがれ、ここに小京都を作りました。また仏



写-6 一乗谷「盛源寺」

教を庇護し、臨濟宗、真言宗、浄土宗、日蓮宗、曹洞宗の寺院が次々に建てられました。城主朝倉貞影が帰依した天台宗真盛派の西山光照寺や盛源寺にはとりわけ多くの石仏が残ります。それは天台宗真盛派がたくさん石仏、石塔を作る宗派だからです。一説によると3000体以上彫られた様です。また沢山の石仏が作られた背景として笏谷石(しゃくだにいし)という金鋸で切れるほど軟らかい石材が豊富にあること、古墳時代より続く越前の石の加工技術があることです。まずは朝倉館跡(義景屋敷跡)から一乗谷川を1kmほどさかのぼった西新町にある盛源寺に行きます。参道から境内に至るまで二百体ほどの石仏が、並べられていて壮観です。中でも境内の不動明王(1556)、地藏菩薩(1537)、毘沙門天は量感もあり、一乗谷の石仏の最高傑作です(写-6)。西山光照寺跡はJR越美線「一乗谷駅」の近くにあり、現在廃寺になっていて本堂・庫裏などの跡があります。ここに覆屋が建てられ40体近く安置されています(写-7、8)。地藏菩薩や阿弥陀如来・不動明王以外に善光寺式阿弥陀三尊や如意輪観音・千手観音なども見られますが、完全な石仏は少なく、ほとんど手足や顔面を欠きます。そのほか越前市の武生駅近くの引接寺にも30数体の石仏があります。引接寺は天台宗真盛派の大寺院で江戸末期に再建された本堂を始め庫裏・山門・大仏堂などが境内に立ち並んでいます(写-9)。特に、山門の近くにある地藏と不動の石仏は3m近くの巨像で、大迫力です(写-10)。鯖江市の八幡神社にも笏谷石仏が3体安置されています。観音菩薩と珍しい不動三尊です(写



写-7 一乗谷「西山光照寺跡」



写-8 一乗谷「西山光照寺跡」



写-9 越前市引接寺「石仏群」



写-10 越前市引接寺「不動明王」



写-11 鯖江市八幡神社「石仏群」

写-11)。不動三尊はとてもよい出来です。同じく鯖江市の春日神社には9体の笏谷石仏が安置されています(写-12)。阿弥陀、聖観音、千手観音などからなる石仏群であり、石橋として利用されていたとの伝承があります。その他県内外に沢山の同時期の笏谷石の石仏が保存されています。三国町の名刹龍谷寺には境内には重要文化財に指定された鎮守堂や国の名勝の山水庭園、国宝の金銅毛彫宝相華文磬、絹本着色地藏菩薩



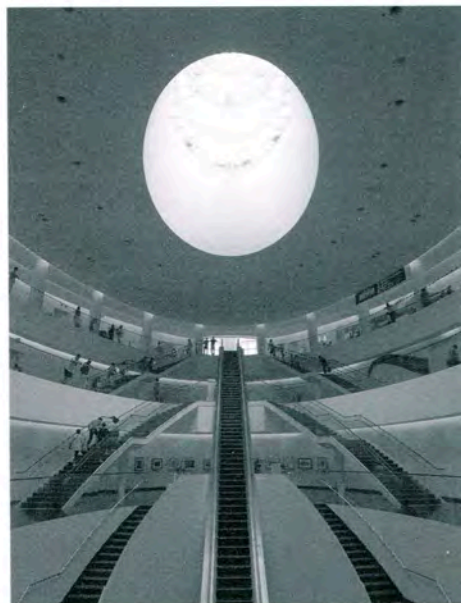
写-12 鯖江市春日神社「石仏群」



写-13 三国町龍谷寺「石龕開山堂」

(重文)や朝倉孝景が寄進した天之凶(重文)などがあります。その境内に十三仏を内部の側壁に刻んだ石室(石龕開山堂)があります(写-13)。笏谷石の側壁に半肉彫り像を刻んでとても面白い造りです。

福井に行ったら福井県立恐竜博物館です(写-14、15、16)。とても綺麗な博物館で、ディスプレイも素晴らしい出来です。動く恐竜の精巧なこと、子供達とキャーキャー言ってしまう。絶対必見の博物館(世界三大恐竜博物館の一つ)です。なおJR福井駅にも沢山恐竜がいます。



写-14 福井県立恐竜博物館



写-15 福井県立恐竜博物館



写-16 福井県立恐竜博物館